

## (4) ピーマン

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
うどんこ病	トリフィン水和剤	トリフィン水和剤	3		3000～5000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	モレスタン水和剤	キキサリン系水和剤	"UN(I*)		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン
					20g/100立方 m(50m <sup>2</sup> ×2m)	-	収穫前日まで	くん煙	3回以内	ピーマン
苗立枯病	オーソサイド水和剤80	キャブタン水和剤	M4		800倍	2g/m <sup>2</sup>	は種後から2～3葉 期まで	灌注	2回以内	ピーマン
					種子重量の0.2 ～0.4%	-	は種前	種子粉衣	1回	ピーマン
灰色かび病	ロブラル水和剤	イブロン水和剤	2		1000～1500倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	ピーマン
斑点病	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		1000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン
アザミカ類	アドマイヤ-1粒剤	イミダクロプリド粒剤	4A		1～2g/株		定植時	植穴又は株 元土壌混和	1回	ピーマン
アブラムシ類	アグロスリン乳剤	シベルメトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	アデイオン乳剤	ヘルメトリン乳剤	3A		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	アドマイヤ-1粒剤	イミダクロプリド粒剤	4A		1～2g/株		定植時	植穴又は株 元土壌混和	1回	ピーマン
					1g/株		育苗期後半	株元散布	1回	ピーマン
	マラソン乳剤	マラソン乳剤	1B		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	ロブライ乳剤	フェンプロパトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン
材カガ	アファーム乳剤	エマクチン安息香酸塩乳剤	6		2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	ピーマン
	スピノース顆粒水和剤	スピノサト水和剤	5		2500～5000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	ピーマン
カガ	アデイオン乳剤	ヘルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	ランネット45DF	メソシル水和剤	1A	劇	1000～2000倍	100～300g/10a	収穫開始14日前ま で	散布	4回以内	ピーマン (露地栽培)
ネリムシ類	ダイアジノン粒剤3	ダイアジノン粒剤	1B		6～9kg/10a		は種時又は植付時	土壌混和	2回以内	ピーマン
ハスモンヨトウ	ランネット45DF	メソシル水和剤	1A	劇	1000～2000倍	100～300g/10a	収穫開始14日前ま で	散布	4回以内	ピーマン (露地栽培)
ハダニ類	マラソン乳剤	マラソン乳剤	1B		2000～3000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	ピーマン
	ロブライ乳剤	フェンプロパトリン乳剤	3A	劇	2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	ピーマン